

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

一般社団法人 日本保育者未来通信

②施設・事業所情報

名称：新城もりのこ保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：桑原 照美	定員（利用人数）： 40（46）名
所在地：〒211-0044 川崎市中原区新城1-15-13	
TEL：044-798-7015	ホームページ：http://kodomonomori.co.jp/sn/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2011年07月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 こどもの森	
職員数	常勤職員： 9名 非常勤職員： 3名
専門職員	園長： 1名 調理員： 1名
	保育士： 6名 栄養士： 1名
	保育補助： 2名 看護師： 1名
施設・設備 の概要	乳児室・ほふく室 事務室・医務室： 1室
	保育室・遊戯室： 3室
	調理室： 1室

③理念・基本方針

<p>【保育理念】 子どもの十全なる発達と保育を通じて子育て家庭をサポートしていきます</p> <p>【保育方針】 ほめて、諭して、いっしょに歩む</p> <p>【保育目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いやり、感謝の気持ちを持てる子 ・返事、挨拶のできる子 ・身体が元気で、心が強い子

④施設・事業所の特徴的な取組

<p>【キッズダンスや合気道など子どもたちがさまざまな身体活動を楽しめるよう配慮しています】</p> <p>2歳児～5歳児を対象に、月に1回、専門の講師を招き、キッズダンスに取り組んでいます。キッズダンスでは年齢ごとに合わせた、さまざまなリズムや動きを楽しんでいます。また、3歳児～5歳児を対象に月に1回、合気道にも取り組んでいます。合気道では、姿勢や礼儀、護身や危険回避などを中心に、さまざまな身体活動を体験する機会になっています。これらの活動は、子どもたち一人ひとりの興味や関心に応じて取り組むことを保育者間で十分に配慮し関わっています。また、日ごろの活動では、戸外活動を多く取り入れるとともに、室内ではマット運動や跳び箱、リトミックなどの運動遊びを積極的に取り入れ、子どもたちがさまざまな身体活動を楽しめるよう配慮しています。</p>
--

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年 6月17日（契約日） ～ 令和3年 3月31日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（ 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

【チームティーチングを取り入れ、園全体で子どもの育ちを見守る体制づくりに努めています】

園長を含め、全職員で一人ひとりの子どもの育ちを見守る体制づくりに努めています。職員は日ごろの何気ない会話の中で、子どもの育ちについてさまざまな意見を交わし共有するとともに、職員会議等を通して、一人ひとりの育ちを見直す機会を設けています。園全体で子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行うために、複数の職員で個々の子どもに適切に対応するチームティーチングを取り入れています。チームティーチングでは、職員全員で子どもを見守ることを共通認識とし、クラス担任だけでなく一人ひとりの子どもの状況に合わせて別の職員が関わることなど、園全体で子どもの育ちを見守る環境づくりに努めています。

【子どもたちがさまざまな経験ができるよう、職種を越えて連携が図られています】

保育者だけでなく看護師による保健指導や栄養士・調理師による食育活動など、園生活の中で子どもたちがさまざまな経験ができるよう、職種を越えて連携が図られています。看護師との連携では、年間で保健指導計画が立てられ、月ごとのねらいに沿って、保健指導が行われています。実施された内容については、年間計画に沿って、保健だよりを通じて保護者へ伝えていきます。また、栄養士・調理師との連携では、食育年間行事予定が立てられ、食事のマナーや旬の食材に触れられるよう、カレー作りなど、月ごとにテーマを設定しテーマに沿ったねらいを立て実施されています。これらの職員間の連携により、子どもたちがさまざまな経験ができるよう配慮されています。

◇改善を求められる点

【園が有する専門的な情報を、地域に還元する取り組みが望まれます】

園見学者に対する育児相談の実施や、自治体が主催となり実施される保育祭りへの参加を通して、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどの貢献につなげています。また、地域で実施される、劇や演奏会、サッカークラブが主催する食育のイベントなどにも積極的に参加しています。今後は、地域交流等を通して把握された地域ニーズにもとづいて、地域に対して、定期的な子育て講座や離乳食セミナーなど園独自で実施できる内容を検討し、園が有する専門的な知識・技術や情報を地域に提供することが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

分析後の文書化が弱点だと気づきました。
調査員の方々が、目には見えぬ評価項目として文書にはできない、小さな様々な配慮に気づいてくださり、書面に残して下さっていたことに感謝したいです。

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり